

平成 30 年度・第 4 回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 2018 平成 30 年 11 月 22 日(木曜日)
2. 開催場所 弊社事務局
3. 委員出席 委員総数 5 名、出席委員数 5 名
 - (1) 出席委員の氏名 小坂康雄、中村真弓、得上成子、栗原さつき、安藤一宏
 - (2) 欠席委員の氏名 無し
 - (3) 放送事業者側出席者名 技術統括・放送担当 岩田豊 副放送局長 棟方智子

4. 議題及び議事の概要、審議内容

はじめに 放送担当より挨拶、審議員委員長より挨拶

- (1) 審議事項 らじトク、越谷市の情報コーナー(月曜日の放送・月 1 回)
- (2) 意見交換 現在放送中の各番組について
- (3) その他事項 今後の放送番組審議会開催日程について

5. 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容

(1) 審議事項

(放送担当より)

今回は、10 月度より始まりました越谷市の様々な話題をご案内する朝の情報コーナー「ハロージュンペイ越谷ジャンプ」のご案内となります。この放送は当局の朝の生放送番組である「らじトク・あさからライブでハロー868」において、毎月第 2 月曜日にのみ放送されており、越谷で生まれ育ち、地域のことを知り尽くした「ハロージュンペイ」なる人物が、番組のメインパーソナリティとともに、地元の話や時事、諸活動に従う人物の話などを適宜選択し、それらについて独自の目線でお喋りする、地域情報ご紹介のコーナーです。本日のご試聴は 11 月 12 日(月)の実放送版となります。皆さまどうぞよろしく願いいたします。

(番審委員より)

今回は消防団員の活動がテーマのようで、時節柄テーマの選択も大変良いと感じました。放送時間帯に照らしてみても、使われている音楽なども大変心地よい印象でした。ただ、お話をされているご本人が既に消防団員であるということからか、そもそも消防団とは、という組織の原点に関する情報が少なかつたように思えました。地域のリスナーには、消防団という組織そのものを知らない方も居るはずで、日頃の活動の説明の前に、消防団という組織の生い立ちのような話があると、むしろ今後、活動に興味を持ってくださる方も増えるのではないかと思います。特に、女性のみで構成されている団も有るといった話だったのですが、なぜそういう団が生まれたのか、女性

だからこそできること、などの話も聞きたかった。もっと放送時間が長くても良いかなと思う。それから、台本をしっかり作っているのだなと感じる部分があり、逆に言葉の端々にぎこちなさを感じる事が有った。原稿読みに気負いなくお話しくださいとお伝え下さい。

(番審委員より)

台本を作り込んでいる分、全体的に丁寧な調子が好印象では有るが、こういうコーナーで紹介している内容を聴くこと自体が、いわゆる、情報を知らない、または知らなかった人が、新たに情報を得る、知る機会でもあるはずなので、会話の流れも、ひとつひとつの掛け合いに、もう少しオーバーアクションが有っても良いのかなと思えました。そのほうがリスナーも共感しやすいのではないのでしょうか。

(番審委員より)

短いコーナーでは有るけれど、個人的にはこのコーナーでリスナーに伝えたいこと、伝え方をどのように考えているのか、そのコンセプトをしっかり知りたいと思いました。越谷生まれ越谷育ちを全面に出す、そんな話し手ならば、むしろ一般論的な説明や活動の報告のみにせず、もっと個人的な、ひとりの個人として感じたことや求めていること、例えたら、なぜ自分は消防団員になったのか、そんなお話を聞きたいと思いました。

(番審委員より)

放送時間帯が大変微妙で、良い内容と感じるだけに、リスナーにとって、もう少しゆっくと聴取できる時間帯で、再放送など検討していただけるとよいかと思います。

(放送担当より)

貴重なご意見ありがとうございました。今回のご意見もまた、放送担当者への展開とともに局全体としても共有を図ります。審議委員の皆様より大変暖かいご意見を頂けたことは、番組制作者にとりましても大きな励みとなるのではないかと思います。なお今後は早々関係各所と調整を図り、放送制作にあたっては、再放送等のご要望も含めて、可能な限り当局ならではのオリジナリティを加えてゆきたいと思えます。ありがとうございました。

(2) 意見交換

(放送担当より)

本年度 10 月からの番組表を資料に皆様にご案内させていただきます。審議委員の皆様には、日頃ご試聴されている番組など有りましたら、それぞれご意見を賜りたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

(番審委員より)

- ・ 教えてダイジ先生という放送をいつも夕方聞いています。越谷市のご提供とのことですが、内容が充実していて、聴いていてとても楽しいです。
- ・ 商店会ニュースは良かった。取材がとても面白く、また続けていただきたいです。
- ・ 土/日曜日に平日の番組を再放送してもらえると、平日なかなかラジオを聴くことができないリスナーさんに喜ばれるのではないかと思います。
- ・ 北海道震災の折、いくつかの放送局の事例として、被災直後には朝からずっと災害放送ばかりということではなく、従来流れている番組もしっかり放送されていて、リスナーにとって、その日常感が、むしろ安心感に繋がったという話を聞いた。いつも普通でいられることは大変なことだが、そういう考えもあるのだなと思う。

(放送担当より)

大変貴重なご意見ありがとうございました。12月度より、次クールの番組編成に向けて、この度のご意見ご提案を、できるだけ反映させて参りたく存じます。また局への様々なご意見は、審議委員の皆様に限らず、昨今は一般リスナーの皆様からも多く寄せられるようになってまいりました。パーソナリティ増員と研修も引き続き実施しておりますので、様々なご意見は局全体で共有できるよう努めると共に、各パーソナリティのアナウンス技術面での研修なども視野に入れ、より良い番組作りを行って参りたく存じます。本日は大変有り難うございました。

(3) その他事項・今後の放送番組審議会開催日程について

次回は 平成 31 年 01 月 24 日(木) 10:00～

次々回は 平成 31 年 03 月 14 日(木) 10:00～

上記の通りご予約ください。

6. 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。)

当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き

放送事業者の電子公告(<http://www.koshigaya.fm/>)で行なう。

公表の内容 上記 1.3 の人数及び 4 から 6 までの事項

公表年月日 平成 30 年 10 月 5 日

7. その他参考事項

特に無し

平成 30 年	株式会社エフエムこしがや	CFM	第 30-04 回番審
---------	--------------	-----	-------------